

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2015.9.17 No.207

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

杉並区議会第三回定例会 一般質問しました!

国の制度改悪から住民生活を守るために

善福寺の水害現場写真を紹介



水害対策、介護分野は前進も

現在、開会中の杉並区議会第三回定例会（九月～十月）において、一般質問しました。介護・保育・生活保護・施設再編（あんさんぶる荻窪の財産交換）・水害対策の各問題について、区の姿勢を質しました。※質問の詳細、区の答弁要旨はホームページをご覧ください。

水害対策の質問では、この間、冠水被害が発生した現場の状況を写真パネルで示し緊急対策を求めました。区は「下水道局と連携した対策を検討する」と答弁。区内全域の水害多発地域の通学路等の安全対策の実施も約束しました。

介護分野の質問では、国の法改悪による介護報酬引き下げの影響について「区内事業者の実態把握と必要に応じて（改善を）国へ要望」する旨が示されました。

新たに自治体を実施する総合事業（要支援12の利用者が移行）の介護サービスは「これまでと同じ事業者から同様のサービス（現行相当のサービス）提供が行なわれることが重要」とし、

あんさんぶる荻窪廃止…手続き上も重大な問題

あんさんぶる荻窪についても質問。町会・住民の切実な声を取り上げ、計画の停止を求めました。詳細は裏面



住民が施設周辺で貼り出しているポスター

保育・生活保護分野は課題

保育分野は「私立認可保育所への運営費加算は現行水準を維持し、新たな加算を行なう」旨が示されました。

一方、マンション内の複数居室をバラバラに利用する認可保育所整備について、今後は「ケースバイケースで判断する」等と答弁。施設環境上「保育の質」が確保されない重大問題にもなりかねません。

生活保護問題は、住宅扶助引き下げに伴う転宅指導について、国のただし書き（旧基準の適用が可能）の運用に具体性がなく現場任せとなりかねず、課題を残しました。引き続き、各分野の問題に対し、住民サービスを低下させることのないよう求めます。

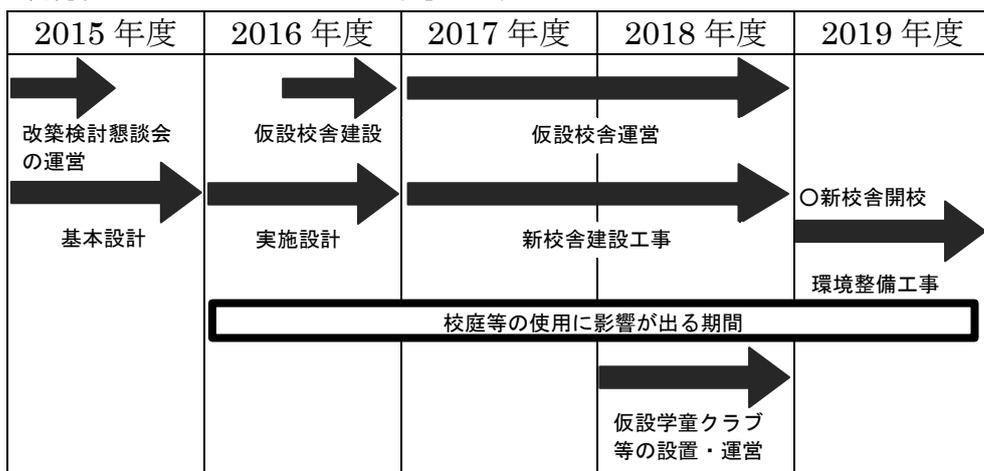
今後の介護報酬設定も現行と同じ単価にすることが示されました。小規模特養ホーム整備についても「公有地活用の可能性について調査・検討を進めている」と答弁しました。

介護分野については、引き続き多くの課題があるものの、法改定の影響を抑える取り組みも多く、重要な前進面もあります。

子どもたちの大切な居場所 荻窪北児童館も廃止に

財産交換に固執…住民無視の区政転換を

改築のスケジュール（予定）



七月十七日、桃井第二小学校の改築に関する説明会が開催されました。地元町会や保護者からは「あんさんぶる荻窪の児童館は決してなくてはならない」「建て替えにより、小学校の校庭が4年間もつかえなくなるのは問題ではないか」「財産交換の説明会を再三要望しているのに未だに開かないのは納得できない」など、計画に反対する声が噴出しました。計画の乱暴な進め方と町会や住民の意向を全く聞こうとしない区の姿勢は許されません。

党区議団は財産交換方針撤回とあんさんぶる荻窪の存続を求めます。

地元町会、住民から怒りの声が噴出

あんさんぶる荻窪を巡る問題 この間の経緯について

- 杉並区は昨年、荻窪五丁目にある桃井第二小学校の改築計画を発表。※財産交換計画により、あんさんぶる荻窪内の荻窪北児童館が廃止されることに伴い、学童クラブ等の機能を桃二小へ移転させる計画だったが、現状のままでは対応できないとして突如、提案した。
- 計画では、2016年度校庭に仮設校舎を建設、2017年度から2年間の工事開始。新校舎は2019年4月開校予定。※上記スケジュール参照
- 荻窪北児童館は2017年度で廃止。学童クラブ等の新校舎移設は2019年度となるため、2018年度の一年間は杉並保健所の4階で対応。

今週のひとコマ

家の前にヘビ！？

先日、本会議後に帰宅すると家の前にヘビがいるではありませんか！？びっくりして、自転車から引っくり返りそうになりました。

我が家は住宅街のど真ん中にありますが、近隣には豊かな自然環境を残す善福寺公園もあり、夜間にはタヌキなどが走り回っています。それにしても、善福寺地域の自然環境はスゴイものです。

同僚の富田区議に写真を見せたところ、杉並区の生き物紹介（彼のニュースで連載中）に掲載するとの事。この環境を残していかなければなりませんね！



アオダイショウ
でしょうか？

一般質問で問題を追及

「支えあい共につくる」杉並区基本構想の精神にも逸脱…

一般質問では、町会や住民の声を取り上げ、地域に大きな混乱を広げている現状を議会で告発しました。

また、住民説明会の開催や住民との意見交換を拒み続ける区の姿勢の問題点を指摘し、計画の強行をやめるよう求めました。

区の答弁は、自らの責任を自覚することもなく「今後も手順を踏みながら進める、などと計画の強行に固執する姿勢を示しました。

再質問では、杉並区自らが定めた杉並区基本構想においても「支えあい共につくる」と示されており、その精神に逸脱していると指摘したところ、まともに答弁することも出来ませんでした。

当日の一般質問の動画は杉並区議会ホームページより閲覧可能です。